

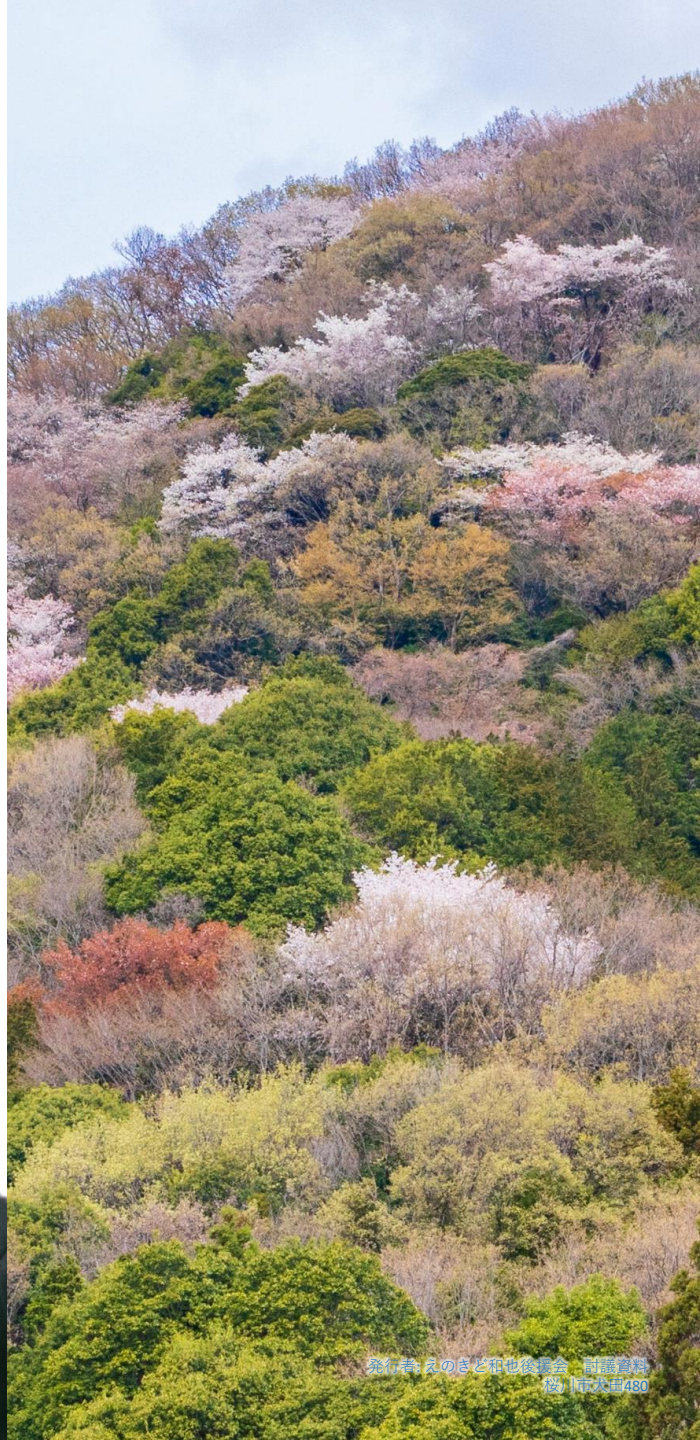
桜川を、つなぐ。

声と想いを、未来へ。



桜川が、静かに動き出す。

えのきと和也



桜川市を、もっと元気に

このまちに生まれ、このまちで育ちました。
桜川市をより良くするため、地域の声を市政へとつなぎます。

桜川の声が、届くまちへ。

情報が閉ざされ、説明のない市政が続いてきました。
大切なのは、市民の視点と、誠実に伝える力。私は仕組みから整え、誰もが安心できる桜川を築きます。

市民の声をまちづくりの原点に戻すこと。それが、桜川を前に進める最初の一步です。

1. 見える市政へ

市政の情報を公開し、説明責任を果たす。市民が信頼できる、透明な行政を進めます。

- クラセル桜川や大和駅北側開発をはじめとした、不透明な意思決定プロセスを見直し、積極的に情報を開示します。
- 加波山市場の運営や関連議案では、ガバナンスの視点から構造的な問題を検証します。副市長が市長の経営を監視するという異例の体制を見直し、健全な仕組みに戻します。
- 議会の議事録をはじめとして、市のウェブサイトの一部がAIによるクローリングに対応していません。AI時代に対応したウェブサイトの見直し、議事録・議会動画配信の質改善を行います。

2. 地域の力を未来へ

農業・観光・文化を次の世代へ。桜川の魅力を育て、地域の力で未来を創ります。

- 定住促進住宅(アイレットハウス)や定住・移住報奨金の整備により、移住、定住を促進します。
- 農業担い手不足に対応し、IT・ドローンなど先端技術を活用した支援体制を構築します。
- 若手就農者や都市部からの移住者に対し、新規就農の支援を行います。
- 県道41号沿線や真壁の歴史的街並みを活かした観光・地域連携を推進します。
- 筑波山系の地の利を生かし、アウトドア・アクティビティや地元イベントの発信力を強化し、地域経済の循環を高めます。

3. 暮らしを支えるしくみ

高齢者も、子どもも、ペットも安心して暮らせるまちに。日々の生活を支える施策を、現場から整えます。

- 老朽化した水道インフラの更新を進め、漏水による損失を減らします。
- 上水道料金の引き下げと、安全・安心な供給体制を実現します。
- 高齢者や障がい者の移動困難者支援として、「福祉タクシー券」の拡充・移動スーパー拡充を行います。
- 猛暑対策として、公立施設や学校へのエアコン設置を早急に進めます。



<https://enokidokazunari.com>

●プロフィール

昭和27年 旧岩瀬町生まれ
水戸一高、東北大卒
富士銀行勤務を経て県立高校教員
定年退職後、桜川市議



必要なのは、誠実な行動とつながる力。

桜川を、まっすぐに。 えのき 和也